令和４年４月３０日

松山卓球協会

関係者各位

新型コロナウイルス感染防止のための対応及び諸連絡について

　松山卓球選手権（団体の部）を開催するにあたり、協会として実現可能な範囲で最大限感染防止に努めて参ります。参加選手、引率の方は以下のことを熟読・ご理解の上ご参加ください。

1. 基本方針

　・大会で感染を広めない。感染が疑われる方は出場を辞退いただく。

　・万が一感染者が判明した場合でも、影響を最小限に抑え、濃厚接触者が特定可能となるようゾーニングに

　　努める。

　・大会開催にあたり下記感染防止対策を行いますが、それでも不安な方は参加をお控えください。

1. 感染防止に配慮した大会運営について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 出場制限 | 次に該当する場合は大会への参加を見合わせる。１） 体調不良の場合体調がよくない場合（37.5℃以上の発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）２） 家族や身近な知人にコロナウイルス感染が疑われる方がいる場合３） 過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触が無い。 |
| 2 | 入館可能者 | 出場者多数のため、原則無観客とします。詳細は以下の通りです。1. 本大会に出場する選手
2. 団体戦は1チームにつき監督1名（役員証の持参要）
3. 小学生は選手1名につき1名まで保護者
4. 大会役員
 |
| 3 | 競技会場競技開始時間 |

|  |
| --- |
| メインアリーナ |
| 8:00～8:30　入場・受付（男女２部）8:45～9:00　開会式9:15頃～　　試合開始（男女２部）12:00～12:45　入場・受付（男女１部）13:00頃～　試合開始（男女１部） |

なお、競技が終わったチームは速やかに退館してください。 |
| 4 | 入館 | ・入館時に密とならないよう他のチームと距離を空け、一般・大学生は各自、高校以下の年代のチームはチーム毎に入館してください。・受付はチームの代表者が本部席にて行ってください。・監督は役員証を持参のこと。所持していない場合入館は認めない。・入館者（一般・大学生）は「連絡先および健康状態申告のお願い」を提出する。健康状態申告書は、入館時に個人が持って入館する。・入館者（高校生以下）は各チームの代表者が入館者の「連絡先および健康状態申告のお願い」を集めて保管、「参加者一覧・体調確認票」を渡す。・入館後、観客席の指定された場所にチーム毎に座る。他チームとの間隔は十分に確保する。 |
| 5 | 練習 | ・密を防ぐため、開会式前の練習は行わない。・いずれかのチームが初戦の場合は試合前に５分程度チームで練習を行ってください。 |
| 6 | 開会式・開始式 | ・開会式、開始式はフロアと観客席に分散して行う。諸注意事項はプリントを配布する。 |
| 7 | 進行 | ・予選リーグは表の一番上のチームや選手がリーグの代表として責任をもって進める。・リーグ戦の結果は得点を必ず記載する。・リーグ戦の結果は全試合終了時に一番上のチームが本部に報告する。・決勝トーナメントの試合結果は勝ったチーム・選手が本部に報告する。 |
| 8 | 審判 | ・審判は相互審判で行う。・進行状況によっては審判の依頼をすることもありますので、ご協力をお願いします。 |
| 9 | 試合 | ・現行の日本卓球ルールに準じて行う。タイムアウト制は適用しない。・予選リーグはすべて３ゲームマッチ(２ゲーム先取)で行う。・すべての試合を３点先取で行う。・決勝トーナメントはすべて５ゲームマッチで行う。・３位決定戦は行わない。・ボールは日本卓球協会公認球を使用する。本部ではNittakuを準備する。・ラケット交換は行わず、自身のラケットを相手に見せるだけにする。・チェンジエンドは行わない。・大きな声は出さない。・台を手で触ったり、靴の裏を触ったりしない。・試合後に握手は行わない。・タオルは台にかけず、ビニール袋に入れておく。 |
| 10 | 感染対策 | ・各自が十分に気を配って行動を行うこと。・入口、各コートに消毒液を設置する。入退館、試合前後に手指消毒を行うこと。・競技中以外はマスクを着用のこと。・マスクを外す際は正面での相対を避け他人との距離を十分に取る。・食事をする時は黙食を徹底すること。 |
| 11 | 観戦 | ・席を移動してはならない。応援は拍手のみとする。 |
| 12 | 表彰 | ・各種目3位まで行う。 |

以　上